

ワークショップ

高尾山古墳周辺の 景観まちづくりを考えよう！

第1回

【発行】沼津市開発指導課

第1回ワークショップを開催しました！

国の史跡及び「ぬまづの宝 100 選」の一つである高尾山古墳と調和した街並み景観の保全・創出のために、古墳周辺を「景観形成重点地区」に指定することで重点的に景観形成を図りたいと考えています。そのために、これから目指していきたい街並み景観や、街並み景観のルールづくりについて意見交換を行うためのワークショップを実施しています。

第1回は、地区景観の現況と、今後の景観まちづくりについて意見交換を行いました。

景観形成重点地区とは？

特徴的な景観をもつ地域について、重点的に景観形成を図るため、市域全域とは異なる、地区独自の景観形成方針と景観形成基準を定めるものです。

※基準は、新築、増改築、修繕などの際に適用されます。
※既存の建築物に対して、直ちに基準への適合を求めるものではありません。

ワークショップの様子

4つのグループに分かれて、地図を見ながら、「大切にしたい、残したいと思う景観」や「気になる、改善したい景観」を共有し、最後には「これから目指したい景観」について意見交換を行いました！



令和8年 10月1日（木）
19時～21時
@東熊堂自治会館
参加者：20名

ワークショップのスケジュール

第1回	10月1日（木） 地区景観の現況と 残したい景観
第2回	11月6日（金） 景観形成の目標・方針の 検討
第3回	12月18日（金） 景観形成の基準の検討
第4回	2027年1月22日（金） 計画案のご報告（説明会）

今回

主な意見

A グループ	高尾山古墳は誇れる地域資源。高尾山古墳の存在感を高めるように、落ち着いた街並み景観を創出したい。
B グループ	東光庵の三角池や谷戸川など、水がきれいな地域。落ち着きある良好な住宅地を目指したい。
C グループ	歴史が深いものの、現在に歴史を伝える資源が少ないため、案内サイン等で歴史を伝えたい。
D グループ	道路整備で起きる変化に不安があるが、歴史的価値を伝えて地域への誇りを持ってほしい。

意見の詳細は裏面に！

みなさんの意見を地図にまとめました！

具体的な場所に関わる意見としては、高尾山穂見神社、熊野神社、水辺（谷戸川、湧水）、歴史を伝える石仏・石碑についての意見が出ています。そのほか、地区全体に関わる意見として、空き家・空き地の増加や交通量の多さ、道路整備によるまちの変化に対する懸念が挙げられました。



地区全体に関わる意見 ◎…大切にしたい景観、▲…改善したい景観

◎落ち着いた住宅地で、生垣のある趣きある住宅や、植栽に力を入れている住宅がある。

▲空き家・空き地が増えているほか、草刈り等の担い手が不足している。

▲車の交通量が多いうえに、歩道の幅が狭く電柱も多いため、安心して歩けない。

▲沼津南一色線の道路用地のために出ていく人がいて、人口が減ってしまった。また、工事の騒音が発生しており、粉塵の発生も懸念している。

●第2回のご案内 11月6日（金）19:00～21:00@東熊堂自治会館

今回は、第1回の結果を踏まえて、事務局が作成した「景観形成の目標・方針」のたたき案をもとに意見交換をします。

問合せ・お申込み

沼津市役所 都市計画部 開発指導課 景観指導係 担当：大川

TEL：055-934-4762 メール：kaihatu@city.numazu.lg.jp